

# 製品安全データシート

## 1. 製品化学物質等及び会社情報

製品名 KDポリッシングシート (オレンジ・ピンク・イエロー・クリーム)  
会社名 株式会社 大東  
住所 大阪市中央区神崎町3-4  
電話番号 06-6762-6701  
FAX番号 06-6762-6740  
整理番号 KDPS-001

## 2. 危険有害性の要約

危険性：危険性は極めて低い。  
有害性：研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。  
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。  
環境影響：研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

予防策、応急措置、保管、廃棄については、下記4~9、14の頁を参照。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	管報公示整理番号		CAS番号
			化番法	安衛法	
綿布	90%				
酸化アルミニウム	7%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	(1)-23		1344-28-1
鉱物油脂	0.80%	非公開	非公開		非公開
合成油脂	2%	非公開	非公開		非公開
活性剤	0.15%	非公開	非公開		非公開
トリエタノールアミン	0.05%	N(CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> OH) <sub>3</sub>	(2)-308	(2)-308	102-71-6

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及  
び有害物 (法第57条の2、  
施行令第18条の2別表第9)

トリエタノールアミン (政令番号:381)  
(0.05%)

酸化アルミニウム (政令番号:189) (7%)

## 4. 危険有害性の要約

有害性 : 通常の手扱いにおいて毒性、刺激性はないが、眼・呼吸器・皮膚や粘膜等に比較的軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

分類の名称 : 分類基準に該当しない。(分類基準は日本方式)

## 5. 応急措置

吸入した場合 : 通常の状態では該当せず。  
皮膚に付着した場合 : 特に毒性はないが使用後は石鹼で洗浄するのが望ましい。  
目に入った場合 : 通常の状態では該当せず。  
飲み込んだ場合 : 通常の状態では該当せず。

## 6. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、ハロゲン化物、強化液、乾燥砂等。

特定の消火方法 :

- ・火元への燃焼源を断ち、初期火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
- ・大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
- ・危険でなければ、容器を火災区域から移動させる。
- ・関係者以外は、安全な場所に退避させる。

消火を行う者の保護(保護具等) :

一般的な消火方法で風上から消火する。

## 7. 漏出時の措置

該当せず。

## 8. 取扱い :

技術的対策(取扱者の暴露防止、火災爆発の防止など)

- ・規制されない。

注意事項

- ・ポリッシングシートは基材表面が研磨材、助剤で覆われており、直接肌に触れると肌が荒れる可能性がある。肌の弱い人は薄い手袋を着用することが望ましい。
- ・ポリッシングシートを水に浸けたり、洗濯すると研磨剤等が溶出し研磨性能が低下する。

安全取扱い注意事項(混合接触防止、接触回避など)

- ・高温物や点火源から遠ざける。

保管 :

適切な保管条件

直射日光下や高温乾燥下での保管は適さない。

- ・ゴミやほこりを避けて保管する。

## 9. 暴露防止及び保護措置

保護具

必要に応じて使用。

## 10. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 研磨剤含浸タイプポリッシングシート

臭い : わずかな特異臭

pH : 知見なし

物理的状態が変化する特定の湿度/温度範囲

沸点 : 知見なし

融点 : 知見なし

密度 : 知見なし

溶解性 : 助剤のみ水可溶性

## 1.1. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件では安定。  
反応性 : 通常条件では安定。  
避けるべき条件 : 常温での取扱いでは安定。  
危険有害な分解生成物 : 知見なし

## 1.2. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし  
局所効果(皮膚、目など) :  
通常の状態では該当しないが、肌の弱い人は直接肌に触れると肌が荒れる可能性がある

## 1.3. 環境影響情報

知見なし

## 1.4. 廃棄上の注意

ポリッシングシートには油脂類が多く含有されているため、このままでは産業廃棄物として投棄及び埋め立て処分が禁止されている。焼却した後、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する必要がある。

## 1.5. 輸送上の注意

国際規制 : 知見なし

## 1.6. 適用法令

労働安全衛生法  
該当せず  
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律  
該当せず

## 1.7. その他の情報

### 引用文献等

- 1) 製品安全データシートの作成指針
- 2) 12996 の化学商品
- 3) 使用原料の各社「SDS」

### 記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報洩れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来への訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

## 18. GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分外

皮膚腐食性／刺激性 区分2

皮膚感作性 区分1

特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分1（肺）

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## 19. GHSラベル要素

シンボル



## 20. 注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H372 長期又は反復暴露による呼吸器系、腎臓、肺の障害

## 21. 注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

容器を密閉しておくこと。

取扱い後はよく手をあらうこと。

この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしないこと。

野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用具を使用すること。

## 22. 緊急措置

皮膚に付着した場合、大量の水と石鹼で優しく洗うこと。

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し

、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

暴露した場合、医師に連絡すること。

暴露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

特別な処置が必要である。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

## 23. 保管

容器を密閉して換気のよい場所で保管すること。

施錠して保管すること。

## 24. 廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。